

立命館經濟學

第二卷 第二号

昭和二十八年四月

内 容

論 説

- 社会の階級性について……………阿 部 矢 二…(1)
学生諸君へ
事業課税の外形と本質……………眞 浦 格 良…(16)
スウェーデン恐慌論の批判……………松 田 弘 三…(32)
恐慌論の基本問題について(一)

研 究

- 連関財に関する考察(一)……………山 田 邦 重…(81)

講 座

- 税務会計における貸倒準備金の繰入処理……………高 尾 忠 男…(104)

書 評

- T・E・ミード・国際收支論……………村瀬 武 三郎…(111)
— 国際経済政策理論 第一巻 —

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学

第二卷・第一号

論 説

資本論冒頭文節の体系的意味

郷土産業考察の一例（下）

梯 明秀

淡川康一

任意標本調査法（二二）

関 弥三郎

近世山城における在郷商人の商業
経営について

足立 政男

—乙訓郡足村綾油商「油屋弥兵衛」について—
O·H·Taylor のシュムペーター學説における
「帝國主義論」「社会階級論」の位置づけにつ
いて

浜崎 正規

立命館大学人文科学研究所紀要第一号
パスカルの Horror Vacui と実験的方法
——科学と哲学との関連を辿るための試論——
形式的真理と存在の問題
市民社会においての市民の人間的自己解放
——マルクスにおける自己疎外と具体的一般者——
法と道德との区別に関する諸問題
イデオロギーとしての社会学
——アメリカ社会史序章——
リカアドオ経済学の二大支柱
奈良絵本考
剪燈新話と雨月物語との関係
ヘレネンツムにおけるボリス的財産觀
居延漢簡と漢代の財產稅
藤原惠美押勝の乱
日本古代政治史のための断章
上層町衆の系譜
京都に於ける三長者を中心にして
明治維新とナショナリズム
わが国都市労働における封建性と労務供給請負業
その一
わが国都市労働における封建性に関する試論
勤労者の意識
——おくれたものと進んだもの——
中国の新民主主義革命と新民主主義經濟
米国による对外援助の國際政治的意義
——第三期帝国主義に関する試論——
梯 明秀
細野 武男
井 上次郎
後藤 丹治泰郎
高橋 良三
北山 茂夫
林屋辰三郎
平中 英次郎
南山 本辰也
大山 敷太郎
阿部 矢二郎